

平成22年度技術士第二次試験問題〔建設部門〕

選択科目【9-3】都市及び地方計画

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1、I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えて、それぞれ3枚以内にまとめよ。）

I-1 次の2設問（I-1-1、I-1-2）のうち1設問を選んで解答せよ。（**解答設問番号**を明記すること。）

I-1-1 近年、都市及び地方計画の分野においても、低炭素社会の実現について議論がなされている。このような議論がなされるようになった現状と背景を述べよ。今後、低炭素社会を実現するために、都市構造、都市交通、エネルギー、緑の施策分野ごとに具体的な方策を挙げた上で、これらの施策の実効性を高める取組について、あなたの考えを述べよ。

I-1-2 全国各地で良好な都市景観の形成に取り組む地域が増加しているが、こうした取組が行われるようになった背景を述べよ。また、良好な都市景観の形成に向けて、計画策定、規制・誘導、施設整備のそれぞれの面から課題と取るべき方策について、あなたの考えを述べよ。

I-2 次の6設問（I-2-1～I-2-6）のうち1設問を選んで解答せよ。（**解答設問番号**を明記すること。）

I-2-1 市街地における建築物の屋上や壁面を緑化することの意義を列挙するとともに、技術的課題を3つ挙げ、それぞれの対応策を述べよ。また、屋上緑化や壁面緑化を広く普及させるため、多様な制度を活用した推進方策について、あなたの考えを述べよ。

I-2-2 ワークショップ手法による公園づくりが各地で導入されてきたが、この手法を実施することの効果を述べよ。また、ワークショップを円滑に進めるために特に留意すべき点を述べ、それを踏まえてあなたがワークショップを担当する場合にどのように進めていくか、具体的な方法を5つ挙げ、その内容を説明せよ。

I-2-3 居住機能を含む多様な都市機能を集積させた拠点的市街地の形成を推進するために、「多様で柔軟な市街地整備手法」が議論されている。このような議論がなされるようになった背景を述べ、想定される市街地整備上の目標を3つ挙げ、それぞれについて柔軟な土地区画整理手法を活用した実現方策を述べよ。

I-2-4 近年、「まちづくりと一体となった都市交通施策」を実施する都市が増えている。この背景を述べた上で、このような都市交通施策を実施する際の計画について、「目標とその指標」、「実現に向けての取組（ハード・ソフト施策）」に分けて具体的に述べよ。また、この都市交通施策の実効性を高めるための方策について、あなたの考えを述べよ。

I-2-5 市街地再開発事業として、高容積ではない建築物を整備する事業が各地で実施されるようになってきたが、その背景を述べよ。また、このような市街地再開発事業を組合施行として計画するに当たって、事業を成立させるために有効な方策について、あなたの考えを述べよ。

I-2-6 近年、「非線引き都市計画区域」や「都市計画区域外」において発生している土地利用上の課題を3つ挙げ、その内容を説明せよ。また、それぞれの区域において土地利用を整序するために有効な方策について、あなたの考えを述べよ。なお、方策は都市計画法以外の手法の活用を含め幅広く考えてよい。